

豊かな魚類生産を支える黒潮 —その生物生産の仕組みと変動機構—

日 時：2015年 3月21日（土） 9:30—16:20

場 所：東京海洋大学 講義棟 34番講義室

共 催：水産海洋学会, 日本海洋学会

コンビーナー：高橋素光（水研セ西海水研）・齊藤宏明（東大大海研）・山田陽巳（水研セ西海水研）

挨拶：和田時夫（水産海洋学会長） 09:30-09:35

趣旨説明：高橋素光（水研セ西海水研） 09:35-09:40

座長：山田陽巳

1. 海洋生態系間比較から見る黒潮海流域における小型浮魚類の資源量変動と生物特性 09:40-10:05

高須賀明典（水研セ中央水研）・大関芳沖（水研セ東北水研）・黒田 寛
（水研セ北水研）・奥西 武（水研セ東北水研）

2. 餌環境がマアジの成長・生残過程に与える影響 10:05-10:30

高橋素光・佐々千由紀（水研セ西海水研）・西内 耕（水研セ本部）・
塚本洋一（水研セ北水研）

3. 中深層性魚類マイクロネクトンの構造と表層生態系への影響 10:30-10:55

佐々千由紀（水研セ西海水研）

4. 黒潮域におけるEcopath構築の試み 10:55-11:20

亘 真吾（水研セ中央水研）・村瀬弘人（水研セ国際水研）

— 昼休み（水産海洋学会幹事会）— 11:20-12:30

座長：平田貴文

5. 黒潮の栄養塩輸送及びその東シナ海の基礎生産に与える影響 12:30-12:55

郭 新宇・王 玉成（愛媛大沿岸セ）・趙 亮（天津科技大）

6. 東アジア縁辺海の河川栄養塩供給変化に対する低次生態系の応答 12:55-13:20

高山勝巳・広瀬直毅（九大応力研）・鬼塚 剛（水研セ瀬戸内水研）

7. 黒潮フロント域の栄養塩供給機構 13:20-13:45

長井健容（海洋大）

— 休憩 — 13:45-14:05

座長：岡崎雄二

8. 衛星から見る黒潮域の植物プランクトン群集別一次生産速度 14:05-14:30

平田貴文（北海道大学）

9. 黒潮域における浮遊性カイアシ類の種多様性と群集構造 14:30-14:55

宮本洋臣（水研セ東北水研）

10. 安定同位体比を用いた食物網解析 14:55-15:20

富樫博幸（水研セ東北水研）

11. 黒潮域における物理環境とイワシ類仔稚魚の輸送・成長特性 15:20-15:45

伊藤幸彦（東大大海研）・西川 悠（JAMSTEC-CEIST）・小松幸生（東大
新領域/大海研）・安田一郎（東大大海研）

司会：高橋素光

総合討論	15:45-16:15
閉 会：山田陽巳（水研セ西海水研）	16:15-16:20
水産海洋学会賞授与式，2015年度水産海洋学会総会	16:30-18:00

開催趣旨：黒潮が日本列島に沿って流れることにより形成される多様な物理環境は，我が国周辺の豊かな魚類生産を育む重要な要因である．黒潮域は，親潮域と比べれば生物生産は低いものの，多くの魚種が産卵場や成育場として利用している．それは，減耗の激しい生活史初期に黒潮域の高水温環境でより速く成長することが，生残に有利に働くためである．しかし，貧栄養の亜熱帯水が輸送されるにも関わらず産卵場や成育場が形成される理由や，黒潮の流量や流軸変化に伴う物理環境変動に対する生態系の応答には，不明な点が多い．

黒潮域とその周辺海域における生態系の構造と機能を理解することは，親潮域や日本海も含めた日本周辺海域における魚類資源の来遊や加入量変動要因を解明する鍵となる．本シンポジウムでは，黒潮とその周辺海域において，海洋物理環境変動に対する生態系の応答機構を把握し，黒潮が日本の豊かな魚類生産を支える仕組みを明らかにすることを目的とする．